

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586027601	科目番号 / Course code	05860276
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15081_005		
授業科目名 / Course title	A3日本のことばと世界のことば / Languages in Japan and the world		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	haradaso nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総研棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約をとること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本語の特徴を、特に世界の他の言語や方言との比較に基づいて、理解する。		
授業到達目標/Course goals	日本語を冷静に分析することができるようになる。 日本語の特徴を理解することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題各20点 × 5回		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	日本語学、言語学、音声学		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜資料を配布します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948 ( E-MAIL ) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション
2	音声・音韻1
3	音声・音韻2
4	音声・音韻3
5	言語の諸単位
6	活用1
7	活用2
8	ヴォイス
9	テンス・アスペクト
10	モダリティ
11	格・とりたて
12	複文
13	待遇表現
14	語彙
15	言語変化

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586030701	科目番号 / Course code	05860307
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 15221_005		
授業科目名 / Course title	A3アフリカ入門 / Introduction to African Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	増田 研 / Masuda Ken		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ken-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟(文教キャンパス)2F		
担当教員TEL/Tel	内線2923		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日14:30-17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	アフリカ大陸は日本からはるか彼方に位置する。だが日本とアフリカは、ひろくヨーロッパやアジアと繋がるひとつの文化的世界を形成している。講義はアフリカと世界とのかかわりを理解する歴史的な内容と、現代のアフリカ社会をとりまく主要な課題を中心課題に据えて進められる。		
授業到達目標/Course goals	アフリカ地域に関する基本的な知識を習得し、世界史的な位置づけを明確に説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義の予習・復習および提出物による評価：70% 期末試験による評価：30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	アフリカ、世界史、植民地、開発		
教科書・教材・参考書/Materials	【主要な参考書】 宮本正興・松田素二(編)『新書アフリカ史(改訂新版)』講談社現代新書、2018年 遠藤貢・関谷雄一(編)『社会人のための現代アフリカ講義』東京大学出版会、2017年		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	アフリカは日本とほとんど関わりがないように思われていますが、実際はそうではありません。みなさんが社会の中核を担うころには、アフリカは大きなプレゼンスを持つようになります。遠からず、アフリカを知っていることが社会の常識になるでしょう。その時代を先取りしてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	【「アフリカ」の多様性】 アフリカ大陸および隣接地域の地理環境や言語分布といった基礎情報を共有する。とりわけ生業経済の多様性、キリスト教とイスラーム、地中海やインド洋を介した外部との交渉の歴史などを概説し、「アフリカ」を一括りにできないことを理解する。
2	【探検とアフリカ「発見」(1)】 アフリカが西洋によって発見された経緯と世界史における位置づけ
3	【探検とアフリカ「発見」(2)】 アフリカが西洋によって発見された経緯と世界史における位置づけ
4	【奴隷交易と人種問題(1)】 奴隷交易の経済的側面とその世界史的位置づけを考える
5	【奴隷交易と人種問題(2)】 奴隷交易の経済的側面とその世界史的位置づけを考える
6	【植民地化プロセスと初期抵抗】 西洋諸国による植民地化のプロセスとそれに対する初期抵抗
7	【植民地経営】 西洋、とりわけイギリスによるアフリカ支配の方法論
8	【国家の独立と、独立後の課題】 1960年代にピークを迎えた独立がアフリカにもたらした新たな問題
9	【近代国民国家と「民族」概念】 現代のアフリカ諸国が抱える「国家と民族」の問題を整理する
10	【現代のアフリカ(1) 1990-2019】 1990年代以降のアフリカ社会の急激な変化、とくに政治の安定化とインフラの整備に着目する
11	【現代のアフリカ(2) アフリカにおける国家の崩壊】 近年問題とされる「破綻国家」の概念とその実状を紹介する
12	社会開発とくに教育の普及に焦点を当てる
13	【現代のアフリカ(2) 保険状況の改善】 社会開発とくに基礎的医療の普及に焦点を当てる
14	【現代のアフリカ(4) 長崎大学とアフリカ】 アフリカ社会が抱えている保健・医療・感染症問題と、長崎大学の取り組みを理解する。
15	【未来のアフリカ】 アフリカにおける急激な人口増加が、今世紀の世界にもたらすインパクトを予測する
16	最終試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586032501	科目番号 / Course code	05860325
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 16241_005		
授業科目名 / Course title	A3世界と日本の陶磁器文化交流 / Ceramics Cultural Exchange between the World and Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nogami-takenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟11階 野上研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあっても消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。長崎県産をはじめとした日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようにすることが授業の目的である。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界に輸出された長崎県をはじめとした日本の陶磁器について説明することができるようになる。 2. 長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。 3. 世界情勢で長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。 4. 日本(特に長崎)と海外との関わりを示す考古資料を説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート・小課題の提出状況 50~70点(合計点を50~70点満点で換算)、最終試験(あるいは最終レポート) 30~50点の計100点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【予習】授業の最後に次回の内容について説明しますので、関連する資料を確認するようにしてください。(2h) 【復習】授業で配布された資料を整理し、授業の内容について理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード / Keywords	陶磁器、文化交流、水中考古学		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜、プリントを配布し、教科書は使用しない。参考書は授業の進捗に応じて紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	質問や相談は気軽に研究室へ（事前にメールをください。）
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	野上 建紀/有田町歴史民俗資料館での勤務経験（25年間）/埋蔵文化財を中心とした文化財保護行政と資料館の学芸業務の経験を生かして、考古学と社会の関わりについても説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のオリエンテーション（講義全体の内容や取り組み方などを説明する。）
第2回	陶磁器と考古学（陶磁器に関する概説）
第3回	海のシルクロード概論（海を介した文化交流の概要を説明する。）
第4回	水中考古学概論（海のシルクロード研究において重要な位置にある沈没船研究の方法論を紹介する。）
第5回	沈没船からみた陶磁器貿易
第6回	長崎県の波佐見焼などの日本磁器の誕生
第7回	長崎県の波佐見焼などの磁器生産の本格化
第8回	長崎県の波佐見焼などの磁器の海外輸出の始まり（1）
第9回	長崎県の波佐見焼などの磁器の海外輸出の始まり（2）
第10回	海外輸出された長崎県の波佐見焼などの磁器（1）
第11回	海外輸出された長崎県の波佐見焼などの磁器（2）
第12回	海外輸出された長崎県の波佐見焼などの磁器（3）
第13回	戦争と考古学（1）
第14回	戦争と考古学（2）
第15回	陶磁器からみた文化交流（総括）
第16回	最終試験（あるいは最終レポート）